

性のライフデザイン セミナー

アンケート分析結果報告
(わせがく高等学校)

Date

2025年9月3日(水)12:30~13:55

Target

わせがく高等学校 1~3年生

Reporter

多古町 企画政策課地方創生推進係

分析サマリー：セミナーの成果と全体傾向

セミナー満足度

85.3%

知識の習得

性に関する正しい知識を得たことへの満足感が高く、理解が深まった。

将来への参考度

76.5%

性病への理解

性感染症（性病）の危険性について、具体的な知識を通じて危機感を醸成。

友人への推奨度

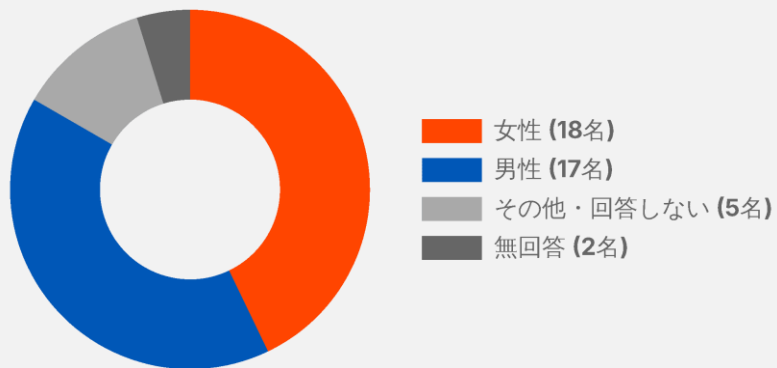
67.6%

相談への安心感

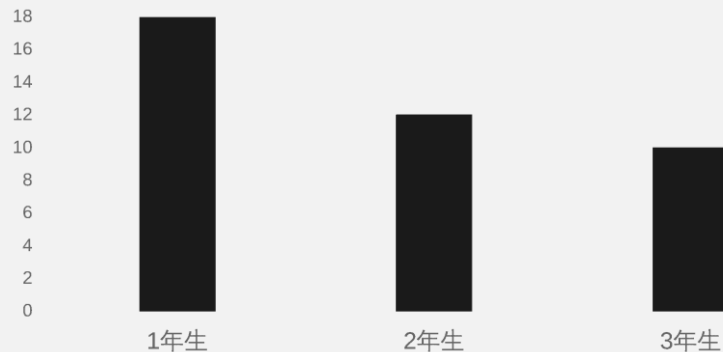
何かあった際に相談できる場所や方法を知ることによって、心理的な安心感が向上。

回答者属性：参加者の構成比

性別構成

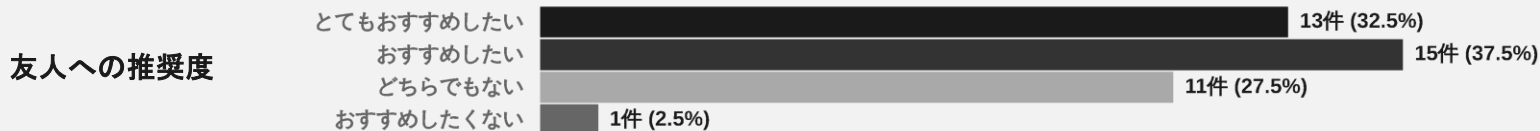


学年構成



有効回答数：42名 | 居住地：多古町外 97.5% / 多古町内 2.5%

セミナー評価分析：定量データによる検証



※満足度・参考度ともに8割以上の生徒から肯定的な回答を得られました。（有効回答数 N=40）

自由記述分析：受講者の意識とキーワード

頻出キーワード

知識 14回 # 満足度・変化

性病 4回 # 満足度

理解 3回 # 満足度

相談 2回 # 変化

主要な傾向

知識の習得への高い満足感

「正しい知識を得た」という回答が最も多く、セミナーの教育的効果が強く実感されている。

性病への危機感と理解

性感染症（性病）の怖さを具体的に知ることで、自身の行動を振り返りきっかけとなっている。

相談できる安心感の獲得

一人で悩まずに相談できる場所があることを知り、心理的なハードルが下がった。